

前
葉
泰
幸

津
市
長

みさとの丘学園外国語指導助手(A L T)
エミリー ヤンデルさん

津市教育委

Let's Speak English!

平成30年11月28日、津市の外国語指導助手(ALT)で昨年4月から義務教育学校のみさとの丘学園に勤務しているエミリー ヤンデルさんをお迎えし、津市の英語教育や学習方法などについて前葉泰幸市長がお話を伺いました。対談は英語で行われましたが、日本語訳でお届けします。

撮影/津市教育委員会庁舎

市長 まず、外国語指導助手(A L T)の仕事についてご説明願えますか。

エミリー 小学校低学年の場合は、授業の前に細々とした準備が必要です。例えばフラッシュカード(教材)を作ったり、ゲームを考えたり。中学校では授業の準備をして、活動内容を考えたり授業のサポートもしたりします。

市長 日本人の英語の先生と一緒に授業するのはよね。

エミリー そうです。

市長 子どもたちの反応はどうですか。

エミリー 子どもたちは英語が好きだと思います。教科書などを使った勉強もしますが、みんな楽しんでます。

市長 エミリーさんは前期課程の3年生から後期課程の9年生までを教えているのですか。

エミリー 厳密に言うと1・2年生でも教えています。内容はとてもシンプルです。単語を学ん

だりゲームをしたり。3・4年生では外国語活動があり楽しいですよ。教科書のようなものがあってリスニングなどの練習もしますが、あくまでも英語の活動です。

市長 英語を楽しむということですね。

エミリー 5・6年生になると少しレベルアップして、中学生に当たる後期課程では本格的な勉強になります。

市長 エミリーさんは南立誠小学校と北立誠小学校、橋北中学校に勤務したことがありますよね。小・中学校が分かれている学校と義務教育学校とでは何か違いますか。

エミリー 大きな違いが1つあると思います。みさとの丘学園では1年生から6年生までの前期課程、7年生から9年生までの後期課程の子どもたちが同じ校舎で学びます。これがとても効果的です。例えば今年の初め、6年生に次の学年からどんな勉強をするのか見せたいと思った